

17日、清水大使はクライペダを拠点とするバルト海地域最大の海洋エンジニアリング企業 Western Shipyard 社を訪問し、シレイカ（Mr. Arnoldas Sileika）CEO と意見交換を行いました。

## 1 Western Shipyard 社概要

リトアニアおよびバルト海地域で最大の海洋エンジニアリング企業です。エストニアに本社を置く「BLRT Grupp」の傘下であり、同グループはノルウェー、フィンランド、リトアニア、ポーランド、ウクライナ、そして最近進出したブラジルを含む世界8か国で50以上の企業を展開し、協力会社を含めると約4,000名の従業員を雇用しています。

## 2 主要事業セクターと技術的強み

### （1）船体修理・改造

バルト海最大級のフローティングドック（浮きドック）を複数保有し、大型商船や特殊作業船のメンテナンス、延命工事、環境対応（スクラバー設置やバラスト水処理システム導入）を24時間体制で実施しています。

### （2）新造船

環境配慮型のハイブリッドフェリー、近海用貨物船、洋上風力向けの特殊作業船（サービス運用船：SOV など）、漁船などの建造実績が豊富です。特に北欧市場（ノルウェー、デンマーク等）の厳しい環境基準を満たす船舶の設計・建造に定評があります。

### （3）大型金属構造物および海洋エネルギー

洋上風力発電（Offshore Wind）や海洋石油・ガス分野向けの超大型金属構造物の製造を行っています。（例）風力タービンの基礎、洋上変電所（Offshore Substation）のコンポーネント、クレーンインフラ。

## 3 日本企業との実績

同社はフィーダーコンテナ船や冷凍船などの修繕で豊富な実績を持っており、日本の商船三井や川崎汽船が運航する船舶が定期メンテナンスでドック入りした実績があります。

## 4 お問い合わせ

同社の詳細、下記のウェブサイトをご参照ください。

<https://wsy.lt/en/>

本件に関し、同社とのビジネス連携等にご関心のある日本企業の皆様は、当館経済班（economy@vn.mofa.go.jp）までお気軽にお問い合わせください。

画像 1 : Western Shipyard 社との面談の様子



画像 2 : 清水大使とシレイカ氏

